

プレスリリース

## 愛されるシニアは職場で尊敬 長年の知識が若手育成に役立つ 75歳で資格を取得 「俺もまだいける！」求められる人材は“8つの資格を持つ男”

～病気を克服 健康である限り“一生働きたい” 定年後も積極採用で働きやすい職場へ～

リフォーム事業をおこなう株式会社NEXTAGE GROUP ネクステージ グループの子会社、MED Communications株式会社 メッド コミュニケーションズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐々木洋寧）は、社員が安心して働ける職場作りに取り組んでいます。その一環として年齢に関係なく新規採用をしたり、定年を迎えた後も希望する社員には活躍する場を提供しています。

日本では定年を迎えると一度退職し、再雇用されたとしても役職からは外れ、年収が半減するなどの制約を受けることが多いですが、実際には定年を迎えても身体が元気である以上は第一線で働いていきたいという人材が数多く存在します。当社の定年は70歳としていますが、希望する社員は健康であれば年齢に関係なく働き続けることができ、当社には今年77歳を迎える渡辺裕之が在籍し活躍しています。

### ■2度の大病から資格取得で再起 若手の見本に

渡辺は大手建設会社に勤めている時に、住宅の専門知識を深めるために3つの資格を取得しました。しかし、52歳の時に膵臓がん、54歳で胃がんを患い療養のために退職を余儀なくされました。働くことにやりがいを感じていた渡辺は、年齢を重ねても、仕事を続けるためには「もっと資格が必要である」と考え、療養中に勉強を始め、さらに4つの資格を取得しました。当社には72歳の時に入社し、今まで取得してきた1級建築士を含む7つの資格を活かして住宅点検をするだけでなく、顧客や後輩指導へのアドバイスをしたり、顧客が安心できる工事がされているのかを厳しく管理



安全基準が守られているのかチェックする様子

しています。住宅の安全基準には細かな規定があり、渡辺はより専門的に顧客の住宅点検ができるように75歳の3月に8つ目となるインスペクター※1の資格を取得しました。今までの経験にプラスして、より専門的な知識を得た渡辺は、若手社員から住宅の劣化に関する専門的な意見を求められたり、直接現場の状況を見てほしいときに連絡が入るなど、若手から頼られ尊敬される社員として活躍しています。渡辺は「75歳で資格の勉強は大変ですが、いくつになっても遅いことはない。資格があるから新たな役割が与えられ求められる人材になれる」と語り、今後も必要な資格があれば年齢関係なく取得を目指し、役立てたいと語っています。

### ■1日3か所の現場回りも 必要とされることのやりがい

現在渡辺は全国にある支店を回り、現場監督の技術教育や安全指導などを行っています。多いときは1日3か所の現場をまわることもあります。インスペクターの資格取得後は若手の社員にインスペクター資格取得を啓蒙する活動も行っており、多忙を極めています。「体力的にきついときもありますが、定年を超えても働くことができるのはありがたい。会社に必要とされるのも、数々の資格のおかげです」と語り、健康であれば一生働きたいと希望しています。今後も当社では若手の見本となる社員の育成と、シニアの働きやすい環境作りをサポートしていきます。



現場をまわり安全指導のため足場に登る

**※1 インスペクター（既存住宅状況調査技術者）** 一般社団法人日本建築士事務所協会連合会から引用

既存住宅状況調査技術者とは、平成 29 年 2 月に創設された既存住宅状況調査技術者講習制度による新しい技術者資格です。

既存住宅状況調査技術者が行う既存住宅状況調査（インスペクション）とは、構造耐力上主要な部分（基礎、壁、柱等）に生じているひび割れや、屋根、外壁等の雨漏り等の劣化事象・不具合事象の状況を、目視、計測等により調査するものです。

**MED Communications 株式会社**

わたなべ ひろゆき

**渡辺 裕之**

1942 年 11 月 17 日生まれ現 76 歳

雇用：正社員

勤務：週 3 日 9：00～15：00

**（資格経歴）**

1966 年、大手建設会社に入社、入社 3 年目で一級建築士の資格取得

その後、1 級建築施工管理技士、特殊建築物調査士取得

55 歳で病気療養のため建設会社退職

療養しながら宅地建物取引士、マンション管理士、

マンション管理業務主任者、建築管理士を取得

60 歳で建築コンサルタント業をはじめ

72 歳で MED Communications 株式会社に入社

75 歳で既存住宅状況調査技術者「インスペクター」の資格を取得、全 8 つの資格を取得



渡辺 裕之